



# 日本法中毒学会 第40年会

The 40<sup>th</sup> Annual Meeting of the Japanese Association of Forensic Toxicology

会 期 2021年7月3日(土)・4日(日)

開催型式 ウェブ会議システム(Zoom)を用いたリアルタイム開催

年 会 長 福家 千昭 (横浜市立大学大学院医学研究科法医学 准教授)



## タイムテーブル

	7月3日(土)		7月4日(日)
9:00	9:00 ~ 10:00 <b>社員総会</b>		9:00 ~ 9:45 <b>一般講演 3</b> <b>11 ~ 14</b>
10:00	10:00 ~ 10:05 <b>開会式</b> 10:05 ~ 11:00 <b>若手研究者発表2020</b> <b>Y1-1 ~ Y1-5</b>		9:50 ~ 10:35 <b>一般講演 4</b> <b>15 ~ 18</b>
11:00	11:00 ~ 11:35 <b>若手研究者発表2021</b> <b>Y2-1 ~ Y2-3</b>		10:40 ~ 11:25 <b>一般講演 5</b> <b>19 ~ 22</b>
12:00	11:40 ~ 12:00 <b>吉村賞受賞講演</b>		11:30 ~ 12:15 <b>一般講演 6</b> <b>23 ~ 26</b>
13:00			12:15 ~ 12:30 <b>閉会式</b>
14:00	13:15 ~ 14:00 <b>会員集会</b>		
15:00	14:00 ~ 15:00 <b>教育講演</b> <b>工藤 恵子 先生</b> <small>(福岡大学薬毒物探索解析研究所)</small>		
16:00	15:00 ~ 16:00 <b>一般講演 1</b> <b>01 ~ 05</b>		
17:00	16:00 ~ 17:00 <b>一般講演 2</b> <b>06 ~ 10</b>		

## 参加者へのご案内

第40年会に関することは、第40年会運営事務局（横浜市立大学医学部法医学、  
Tel：045-787-2618、E-mail：JAFT40@yokohama-cu.ac.jp）までお問合せください。

## 参加、講演、発表に関するお願い

1. Zoom上の表示名を、「名字・所属略称」としてください。
2. 講演における質疑は、座長の指示を受けた後、所属、氏名を告げてからご発言ください。
3. 講演内容の録音・録画等をご遠慮ください。

## 日本法中毒学会事務局からの連絡事項

### 理事会

7月2日（金）14：00～17：00

理事、監事の方は開始時刻までにZoomミーティング会場にご入室ください。IDとパスワードは、理事会のメーリングリストにて配信いたします。なお、理事会議案に関しては、学会事務局（名古屋大学法医学教室）にお問合せください。

### 社員総会

7月3日（土）9：00～10：00

評議員の方は開始時刻までにZoomミーティング会場にご入室ください。なお、評議員会を欠席される方は、学会事務局（名古屋大学法医学教室）に連絡の上、事前に委任状の提出をお願いいたします。

### 会員集会

7月3日（土）13：15～14：00

## 一般講演者・若手研究発表応募者への連絡事項

1. 発表時間は、1演題11分（講演8分＋質疑応答3分）です。
2. 講演セッション開始までに、Zoomミーティング会場にご入室ください。
3. 発表の際のPC操作は、演者ご自身でお願いいたします。
4. 発表データはMicrosoft PowerPointで作成してください。
5. 当日の通信トラブル等への対応のため、事前に発表スライドをお送りいただくことをお勧めいたします。

**第1日目 令和3年7月3日(土)**

**9:00 ~ 10:00 社員総会**

**10:00 ~ 10:05 開会式：年会長 福家 千昭(横浜市大・法医)**

**10:05 ~ 11:00 若手研究者発表 2020**

座長 辻川 健治(科警研)

Y1-1 エタノールアミン類の誘導体化 LC-MS/MS 法による分析

○大塚 麻衣、宮口 一(科警研)

Y1-2 UPLC-Q-ToF-MS を用いたヒト血漿中アミノグリコシド系抗菌薬の高感度・高精度分析

○蓑原 沙和<sup>1,2</sup>、藤城 雅也<sup>1</sup>、李 曉鵬<sup>1</sup>、橋本 茉莉<sup>1</sup>、柿 佑樹<sup>1</sup>、今井 愛優美<sup>1</sup>、長谷川 智華<sup>3</sup>、黒木 智明<sup>2</sup>、門松 香一<sup>2</sup>、石井 晃<sup>4</sup>、熊澤 武志<sup>1,5</sup>、佐藤 啓造<sup>1</sup>、松山 高明<sup>1</sup> (1昭和大・法医、2昭和大・形成、3東邦大・法医、4名大・法医、5聖隷大・看護)

Y1-3 金ナノ粒子の色調変化を利用した VX 神経剤のスクリーニング分析

○高橋 史樹<sup>1</sup>、数井 優子<sup>2</sup>、宮口 一<sup>2</sup>、大森 毅<sup>2</sup>、金 継業<sup>1</sup> (1信州大理、2科警研)

Y1-4 DMT 誘導体化を用いた求核性毒物の新規分析法の開発

○掛橋 秀直<sup>1</sup>、志摩 典明<sup>1</sup>、鎌田 寛恵<sup>1</sup>、石川 亜香里<sup>1</sup>、西岡 裕<sup>1</sup>、長谷川 潤<sup>2</sup>、片木 宗弘<sup>1</sup> (1大阪府警・科捜研、2神戸薬大・衛生化学)

Y1-5 覚せい剤炙り使用と受動曝露を識別するための基礎的検討

○阿部 和正<sup>1</sup>、光本(貝崎) 明日香<sup>1</sup>、沼澤 聡<sup>1</sup> (1昭和大学薬学部毒物学部門)

**11:00 ~ 11:35 若手研究者発表 2021**

座長 光本(貝崎) 明日香(昭和大学薬学部毒物学部門)

Y2-1 ロピニロール中毒により死亡した一剖検例

○永澤 明佳<sup>1,2</sup>、山口 るつ子<sup>1,3</sup>、坂 幹樹<sup>3</sup>、千葉 文子<sup>1,3</sup>、鳥光 優<sup>1,3</sup>、山岸 由和<sup>1</sup>、小椋 康光<sup>2</sup>、岩瀬 博太郎<sup>1,3</sup> (1千葉大院医・法医、2千葉大院薬・法中毒、3東京大院医・法医)

**Y2-2** 糸状菌 *Cunninghamella elegans* による JWH-424 の代謝

○渡邊 慎平<sup>1</sup>、岩井 貴弘<sup>1</sup>、山根 寛史<sup>2</sup>、松下 律子<sup>1</sup>、中西 俊雄<sup>1</sup>、瀬戸 康雄<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>理研、<sup>2</sup>兵庫県警科捜研)

**Y2-3** ヒト培養細胞株を用いたシブトラミン誘導体の構造毒性相関解析

○森川 嘉文<sup>1</sup>、神保 俊輔<sup>2</sup>、江川 大祐<sup>3</sup>、笹島 康秀<sup>1</sup>、末次 耕一<sup>1</sup>、佐藤 清人<sup>1</sup>、  
竹腰 裕二<sup>1</sup>、松永 俊之<sup>3</sup> (<sup>1</sup>岐阜県警・科捜研、<sup>2</sup>岐阜薬大・薬草園、<sup>3</sup>岐阜薬大・EGPS)

**11:40 ~ 12:00 吉村賞受賞講演**

座長 片木 宗弘 (大阪府警・科捜研)

生体試料中高極性化合物の直接高感度検出法に関する研究

○鎌田 寛恵 (大阪府警・科捜研)

**13:15 ~ 14:00 会員集会**

**14:00 ~ 15:00 教育講演**

座長 井濱 容子 (横浜市大・法医)

経験から学んだ「法中毒学者として重要と思うこと」

○工藤 恵子 (福岡大学薬毒物探索解析研究所)

**15:00 ~ 16:00 一般講演 1**

座長 花尻 (木倉) 瑠理 (国立衛研)

**01 Cannabidiol (CBD)含有製品の NMR を用いた定量分析の検討**

○田中 理恵、袴塚 高志、花尻 (木倉) 瑠理 (国立衛研)

**02 LC-IMS-Q-TOFMS を用いた様々なヒト生体試料中危険ドラッグのスクリーニング及び  
定量分析**

○河村 麻衣子<sup>1</sup>、前橋 恭子<sup>2</sup>、岩楯 公晴<sup>2</sup>、袴塚 高志<sup>1</sup>、花尻 (木倉) 瑠理<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>国立衛研、<sup>2</sup>慈恵医大)

**03 LC-QTOF-MS による濃縮大麻製品中カンナビノイド 16 成分の定量分析**

○水谷 佐久美、河村 麻衣子、袴塚 高志、花尻 (木倉) 瑠理 (国立衛研)

04 高速液体クロマトグラフィによるカンナビノイド類分離の最適化  
○太田 茂徳<sup>1</sup>、奈女良 昭<sup>2</sup>、斉藤 剛<sup>3</sup>、富岡 康博<sup>4</sup> (1ジューエルサイエンス (株)、  
<sup>2</sup>広島大院・法医学、<sup>3</sup>東海大・救命救急、<sup>4</sup>四国麻取)

05 多糖誘導体カラムによるカンナビノイド分析  
○大西 崇文<sup>1</sup>、福田 大祐<sup>1</sup>、濱寄 亮太<sup>1</sup>、Weston Umstead<sup>2</sup>、大西 敦<sup>1</sup>  
(1株式会社ダイセル CPI カンパニー Analytical Tools BU 研究開発センター、  
<sup>2</sup>Chiral Technologies, Inc.)

## 16:00 ~ 17:00 一般講演 2

座長 原田 和生 (阪大・法医)

06 非ベンゾジアゼピン系睡眠薬ザレプロンの毛髪分析  
○斉藤 剛<sup>1</sup>、奈女良 昭<sup>2</sup>、守田 誠司<sup>1</sup>、中川 儀英<sup>1</sup> (1東海大救命救急、<sup>2</sup>広島大院法医)

07 性犯罪被害者の毛髪分析における睡眠薬摂取量の推定  
○佐々木 啓子<sup>1</sup>、志摩 典明<sup>1</sup>、新田 篤志<sup>1</sup>、鎌田 寛恵<sup>1</sup>、鎌田 徹<sup>1</sup>、佐藤 貴子<sup>2</sup>、  
片木 宗弘<sup>1</sup> (1大阪府警科捜研、<sup>2</sup>大阪医科薬科大・法医)

08 皮下注射したメタンフェタミンの胃内への移行に関するラットを用いた検討  
○吉留 敬<sup>1,3</sup>、守屋 文夫<sup>2,3</sup>、三浦 雅布<sup>1,3</sup> (1川崎医科大学法医学、<sup>2</sup>川崎医療福祉大学  
保健看護学部保健看護学科、<sup>3</sup>岡山大学大学院医歯薬学総合研究科法医学分野)

09 血中ギ酸定量におけるヘッドスペース-ガスクロマトグラフィー質量分析とギ酸定量  
キットの性能比較  
○吉田 春陽<sup>1,2</sup>、原田 和生<sup>1,2</sup>、吉村 旬平<sup>3</sup>、嶋津 岳士<sup>3,4</sup>、松本 博志<sup>1</sup> (1阪大・法医、  
<sup>2</sup>阪大・薬、<sup>3</sup>阪大・救急、<sup>4</sup>大阪府急性期・総合医療センター)

10 エタノール分析における腐敗指標の探索：第一報  
○池松 夏紀<sup>1</sup>、嘉数 一路<sup>1,2</sup>、二宮 賢司<sup>1</sup>、深沢 真希<sup>1</sup>、長間 華衣<sup>1</sup> (1琉球大・法医、  
<sup>2</sup>沖縄県警・科捜研)

## 第2日目 令和3年7月4日(日)

### 9:00 ~ 9:45 一般講演 3

座長 岩田 祐子 (科警研)

- 11 硝酸銀シリカゲル TLC による模擬密造 THC 混合物の分析  
○辻川 健治、岡田 侑己、山室 匡史、桑山 健次、金森 達之、岩田 祐子 (科警研)
- 12 DNA 解析による大麻異同識別の高度化  
○山室 匡史、岩田 祐子、岡田 侑己、瀬川 尋貴、桑山 健次、辻川 健治、金森 達之 (科警研)
- 13 ロングリード次世代シーケンサーを用いた植物系危険ドラッグ製品の基原植物種判定の検討  
○緒方 潤、袴塚 高志、花尻 (木倉) 瑠理 (国立衛研)
- 14 合成カンナビノイド AB-PINACA の肺,肝,腎,尿中代謝物とヘパトサイト代謝物との LC-MS/MS による比較分析  
○南方 かよ子、山岸 格、野澤 秀樹、長谷川 弘太郎、鈴木 雅子、権守 邦夫、渡部 加奈子、鈴木 修 (浜松医大・法医)

### 9:50 ~ 10:35 一般講演 4

座長 石井 祐次 (九大院薬)

- 15 各種フェンタニル系薬物の代謝物のオピオイド $\mu$ 受容体に対するアゴニスト活性の評価  
○金森 達之、岡田 侑己、瀬川 尋貴、山室 匡史、桑山 健次、辻川 健治、岩田 祐子 (科警研)
- 16 新規合成カンナビノイドによる海馬の内因性カンナビノイドレベルの変動  
○Pineda Garcia Jorge Carlos<sup>1</sup>、李 任時<sup>1,2</sup>、花尻 (木倉) 瑠理<sup>3</sup>、田中 嘉孝<sup>1</sup>、石井 祐次<sup>1</sup> (<sup>1</sup>九大院薬、<sup>2</sup>中国薬科大、<sup>3</sup>国立衛研)
- 17 陽イオン性殺菌剤曝露によるヒト肺胞上皮細胞への細胞膜毒性  
○菅野 さな枝<sup>1</sup>、平野 靖史郎<sup>2</sup>、大瀧 純<sup>1</sup>、加藤 秀章<sup>1</sup>、福田 真未子<sup>1</sup>、中村 昌美<sup>1</sup>、青木 康博<sup>1</sup> (<sup>1</sup>名市大法医、<sup>2</sup>国立環境研)

- 18 カフェイン代謝物のヒト有機アニオントランスポーター (hOATs) を介した体内動態について (第3報)  
○千葉 正悦<sup>1</sup>、呂 彩子<sup>1</sup>、林 南帆<sup>2</sup>、井川 亨<sup>1</sup>、大出 透乃<sup>1</sup>、一場 一江<sup>1</sup>、鷲 盛久<sup>1</sup>、向井 敏二<sup>1</sup> (1聖マリアンナ医大・法医、2聖マリアンナ医大・学生)

#### 10:40 ~ 11:25 一般講演 5

座長 佐々木 千寿子 (北里大・法医)

- 19 簡易検出キットを用いた睡眠薬・睡眠導入剤の検出  
○奈女良 昭<sup>1</sup>、前田 侑子<sup>2</sup>、斎藤 剛<sup>3</sup>、村田 和大<sup>1</sup>、長尾 正崇<sup>1</sup> (1広島大院法医、2関東化学(株)、3東海大救命救急)
- 20 液体クロマトグラフィー電場型フーリエ変換質量分析計およびミックスモードカラムを用いた薬毒物スクリーニング法の検討  
○奥田 勝博<sup>1</sup>、浅利 優<sup>1</sup>、高橋 悠太<sup>1</sup>、森 香苗<sup>1</sup>、難波 亮<sup>2</sup>、清水 恵子<sup>1</sup>  
(1旭川医大法医、2札幌東徳洲会病院)
- 21 除タンパク・リン脂質除去カラム ISOLUTE PLD+を用いた全血中ネオニコチノイド系殺虫剤のLC-MS/MSによる一斉分析法  
○小川 匡之<sup>1,2</sup>、近藤 文雄<sup>1,3</sup>、岩井 雅枝<sup>1,2</sup>、松尾 友仁<sup>1,2</sup>、久保 勝俊<sup>1,4</sup>、妹尾 洋<sup>1,2</sup>  
(1愛知医大・法医、2愛知医大・薬毒物分析センター、3中部大、4愛知学院大)
- 22 ヒト血中カフェインの高感度分析法の比較検討  
○坂部 貴生<sup>1,3</sup>、杉山 幸翼<sup>2,3</sup>、藤城 雅也<sup>3</sup>、橋本 茉莉<sup>3</sup>、柿 佑樹<sup>3,4</sup>、加藤 晶人<sup>3,4</sup>、長谷川 智華<sup>3,5</sup>、中内 暁博<sup>3,6</sup>、熊澤 武志<sup>3,7</sup>、松山 高明<sup>3</sup> (1昭和大・薬6年、2昭和大・薬4年、3昭和大・法医、4昭和大・救急、5東邦大・法医、6東都大・ヒューマンケア、7聖隷大・看護)

#### 11:30 ~ 12:15 一般講演 6

座長 笹尾 亜子 (熊大・法医)

- 23 マラチオンの死後変化に対するヒト血清アルブミンの影響  
○山岸 由和<sup>1,2</sup>、岩瀬 博太郎<sup>2</sup>、小椋 康光<sup>1,2</sup> (1千葉大院薬、2千葉大院医)



- 24 マラチオン中毒例におけるマラチオンと代謝物の定量分析  
○福家 千昭、那須 亜矢子、前田 一輔、臼元 洋介、向井 萌、國中 光、田辺 桃佳、井濱 容子（横浜市大・法医）
- 25 剖検資料中のゾルピデム代謝物の分析  
○山口 晃志、大野 曜吉、金涌 佳雅（日医大・法医）
- 26 急性コカイン中毒症例の血液，尿，臓器からのコカイン分析  
○Brian Waters、原 健二、中野 涼子、松末 綾、柏木 正之、久保 真一（福岡大・法医）

**12:15 ~ 12:30 閉会式**